

指定管理者評価票(評価対象年度:令和5年度)

施設名	第二・第三日吉町学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	株式会社 アンジェリカ	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	累計	
収入	31,890,154	32,689,767	31,893,086	96,473,007	
収入内訳	指定管理料	31,752,803	31,609,940	31,008,686	94,371,429
	利用料金	0	0	0	0
	その他	137,351	1,079,827	884,400	2,101,578
支出	30,669,243	31,837,311	30,678,174	93,184,728	
収支差額	1,220,911	852,456	1,214,912	3,288,279	

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
画収 確の 支 適 計 性	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業務の 履行 状況 の 評価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	実施すべき業務について、協定書・仕様書に基づき確実に実行されており、団体の職員間で随時協定書・仕様書を基に再確認していた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	市の条例等に基づいた開所日を遵守している。開所時間については、私学に通う児童の受入時間の誤りの発生があった。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	4	常勤支援員4名(1支援単位2名ずつ)、放課後児童支援員5名。常勤職員はすべて放課後児童支援員(認定研修受講済)であり、必要数を確保していた。	4	4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	資格を有した者が防火管理者を配置されており、防火管理者名が掲示されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は鍵のかかるキャビネットに保管し必要な報告がなされていた。行事等の事業報告は、遅れることなくされていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	児童の登所前及び降所後の掃除・雑巾がけ、扉や窓、備品等の清掃を継続して行っており、施設全体が清潔に保たれている。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	予定されていた点検等は遅滞なく実施され、仕様書で定める法定点検等を適正に行っていた。	3	3

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		3箇年平均	
利用者数 利用件数 利用率	第二日吉町学童	31.2%	第二日吉町学童	64.4%	第二日吉町学童	68.9%	第二日吉町学童	54.8%
	第三日吉町学童	36.6%	第三日吉町学童	57.8%	第三日吉町学童	93.8%	第三日吉町学童	62.7%
	※利用率(平均出席人数/定員数)		※利用率(平均出席人数/定員数)		※利用率(平均出席人数/定員数)		※利用率(平均出席人数/定員数)	
利用者満足度(%)	第二・第三日吉町学童	96.6%	第二・第三日吉町学童	100.0%	第二・第三日吉町学童	98.0%	第二・第三日吉町学童	98.2%

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	10月に実施した利用者アンケートでは、全体に対しての満足度において、98%が「満足」又は「どちらかといえば満足」と回答し、高い水準を確保していた。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	子どもの様子を知りたいとの要望への対応を継続しており、連絡帳やお迎え時でこまめにお伝えし、ブログでも様子を発信していた。	4	3
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	5	利用者アンケートの職員に対しての満足度において、100%が「満足」又は「どちらかといえば満足」とも高い水準を確保していた。担当者は保育に適切な服装であり、礼儀正しく、利用者アンケートでは、「学童担当者が児童をよく見てくれ、親切で素晴らしい方ばかり。」等、保護者から感謝の記述を多くいただいていた。	4	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	児童の受入れ時間の誤りに対するクレームが発生し、丁寧な謝罪をしていたが、同児童に同内容の誤りの再発があり、迅速に謝罪対応をした。	4	3
	個人情報適切に取り扱われていたか	3	個人情報の入った書類については、施設の上、書庫に格納し、パソコンは施設長が施設の上、書庫に格納していた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	指定管理者独自の研修の他、市が主催する障害児への対応や子どもの遊びに関わる研修への参加を確認した。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	加配を必要とする児童に必要な支援を職員間で情報共有するため、共有ノートを活用し丁寧な個別対応を行っていた。保護者と適宜情報交換し、家庭や学童保育所での様子を共有していた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設水準の特性に応じた	自然災害等への対応	4	毎月避難訓練を実施しており、防災かるたや不審者対策をクイズ形式にして子どもたちに解りやすくする等工夫を凝らした訓練が行っていた。消防署員による消火訓練や急救訓練も実施していた。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	放課後子どもプランで一般児童を受け入れたドッチボールの場を保障していた。地域の町内会長との連携を継続し、随時双方のおたよりを交換し関係性の構築を図った。障害者就労支援施設でのおやつ購入や、地域のケーキ店等とのつながりの幅を広げ「美味ぶんじおやつ」と称して地元のおやつを提供して児童の育成支援へ取り組んだ。	4	4
	配慮を要する児童への対応について	3	毎日2名以上でアレルギー児の読み合わせを行い、おやつ提供では、皿の色変えと他児より先に配膳として、提供ミスの防止を徹底している。また症状の程度により、アレルギー用の机を準備して対応していた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指標	評価項目	有無	実施状況	有無	前年度	前々年度
関実提案選定時の状況内容の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案有無 有 実施有無 有	提案有無 有 実施有無 有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	令和5年度も子ども会議で3年生の司会進行のもと、児童同士で話し合いによって出された意見等を大切に反映させながら、各種遊びや行事を企画実施するとともに、育成支援の内容を希望の方には面談、日頃の様子はブログ等様々な方法で保護者と共有することで、児童及び保護者との信頼関係が構築され、充実した保育が展開されていることが、利用者アンケート等からも伺うことができた。指定管理期間の最終年度となった今年度において、児童一人一人の特性等、丁寧な引継ぎも行っていった。また、防災・防犯訓練を毎月実施するとともに、怪我、事故発生時にはマニュアル等に基づき迅速かつ丁寧な対応がなされており、適切な安全管理が行われていた。	3	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				

指定管理者の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
4	市の要求水準を上回っている	仕様書などを踏まえ、市の要求水準を守り、適切に実行する事はもちろん、第一日吉町学童との連携や、学校、地域との連携を丁寧に取りながら、活動を行うことが出来た。離職者など最小限に抑えられた事で、利用者の安心感も高まり、良好なアンケートの結果に繋がったと考えている。日々の業務に対する配慮や、職員の適切な対応から事故怪我なども抑えられ、大きなクレームがなかった事からも利用者の満足度は水準以上だったと考えている。	4	4

指定管理者評価委員会の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	児童や保護者との信頼関係を築くことを大切にしており、アンケート結果を見ても職員に対する感謝の言葉が多くあった。児童から出された意見を大切に、行事などを企画運営するなど、充実した保育が行われていることがうかがえる。また、不測の事態に備え、警察署や消防署と連携して避難訓練などを毎月実施し、子どもたちの安全を確保するための取組を行っていたことは評価できる。 しかし、児童の受入れ時間誤りが2回起きてしまったことについて、事故につながりかねない事象であり、残念である。	4	3